

あま市教職員の多忙化解消に向けての方針

平成30年4月
あま市教育委員会
あま市小中学校長会

策定の趣旨

今日、教職員の業務多忙化が大きな社会問題になっています。教職員が一人ひとりの子どもに丁寧に関わりながら、質の高い授業や個に応じた指導を実現していくためには、教職員の長時間労働を改善し、意欲とやりがいをもって健康で充実した働きができるようにしていくことが重要かつ喫緊の課題です。

平成28年度の愛知県教育委員会による在校時間調査では、11月の1ヵ月において、小学校は12.6%、中学校は38.6%の教員が80時間を超えているという結果が出ました。あま市の平成29年度の11月の調査では、小学校が8%、中学校が30.4%となっています。29年度当初から、“多忙化解消”を合言葉に各校で取り組んできた成果については認められるものの、中学校が依然高い数値を示しているのは、部活動指導に要する時間が多いことが、本年度10月に行った中学校の教員対象のアンケート結果からも明らかになっています。

愛知県教育委員会は平成29年3月に「教職員の多忙化解消プラン」を策定しました。また、国でも働き方改革が着実に進められています。そこで、本市においてもこのプランを踏まえて、あま市教職員の多忙化解消に向けての方針を以下のように決めました。

なお、この方針に示した取組は、短期的・中長期的に実効性のある取組の一部をあげており、今後も教育委員会と学校が一体となって検討し、推進していきたいと考えています。

1 長時間労働の是正に向けた在校時間管理の適正化

(1) 学校における取組

- ・ 在校時間の削減に努めます。
- ・ 退校時刻が遅くとも午後8時となるよう、また、定時に近づくよう努めます。
- ・ 毎日の出校時刻と退校時刻の記録を把握します。
- ・ 定時退校日を月1回以上設定し、月の計画に位置付けます。
- ・ 長期休業中は、定時退校に努めます。

(2) 教育委員会における取組

- ・ 正確な在校時間管理のために、タイムカード等を全小中学校に設置します。
- ・ 各学校の在校時間の状況を把握し、学校訪問時にも記録の確認をします。
- ・ 夏季休業中の「会議、行事等を行わない期間」に、学校閉校日を設定します。
- ・ ストレスチェックを全教職員に実施します。

2 業務改善に向けた学校マネージメントの推進

(1) 学校における取組

- ・教職員が果たす役割を明確にした学校マネージメントを推進します。
- ・学校経営案に業務改善についての重点目標を明記します。
- ・「時間の有効活用」に対する意識化を図ります。
- ・一部の教職員に過重な負担がかからないよう、校務分掌を見直します。

(2) 教育委員会における取組

- ・校長会、教頭会等の会議で学校マネージメントの研修を充実します。
- ・事務の共同実施の更なる推進を図ります。

3 部活動指導に関わる負担の軽減

(1) 学校における取組

- ・中学校の部活動は、平日の1日と土日のうちいずれか1日を休養日とします。
- ・長期休業中（春休み、夏休み、冬休み）の土日の部活動は休養日とします。
- ・長期休業中の平日の練習は半日以内とします。
- ・原則として1月から4月までと、11月から12月までの期間は、朝練習・午後練習のどちらかを休みとします。
- ・原則として複数の顧問で分担し、一人当たりの負担を軽減します。
- ・小中学校における部活動（特設部活動）は、活動時間、休養日、年間スケジュール等を明示し、児童生徒、保護者に周知をします。

(2) 教育委員会における取組

- ・校長会や地区中小学校体育連盟と連携し、部活動における問題点の把握に努めるとともに改善の方法等について協議します。
- ・社会体育との連携について検討します。

4 業務改善と環境整備に向けた取組

(1) 学校における取組

- ・二期制をベースした学校行事等の精選及び見直しを進めます。
- ・会議の精選及び会議時間は勤務時間内に行う、終了時刻を予め示す等、在校時間短縮のための工夫を進めます。
- ・校務支援システムの一層の活用を図ります。

(2) 教育委員会における取組

- ・校務支援システムの充実を図ります。
- ・スクールサポーターの配置を継続して行います。平成30年度からは、図書館司書免許をもったサポーターの配置を行います。
- ・コミュニティ・スクールの推進を図り、学校と地域が連携して教育を行う体制づくりに努めます。
- ・少人数指導の拡充や教職員定数等に関する標準法に基づく適正配置等、県教育委員会及び国に働きかけます。
- ・市及び教育委員会が実施する会議、調査、研修等の精選を図ります。
- ・学校訪問の日程について検討をし、授業時間確保に努めます。